

「清心」

文責 校長 中原弘之

学校教育目標 「学校と地域を愛し、知・徳・体の調和のとれた児童の育成」

地震の時は「まず低く、頭を守り、動かない」

佐世保市においても大きな地震が発生する可能性があります。万が一の地震に備え、家具等の転倒防止を行うと共に、身の安全を確保するための備えも必要かと思えます。

気象庁発行の資料によると、緊急地震速報を見聞きしたときの行動は、まわりの人に声をかけながら「周囲の状況に応じて、あわてずに、まず身の安全を確保する」ことが基本です。また、次のことがイラスト入りで述べられています。

- ① 頭を守って、（机やテーブルなどの）安全な場所に避難！
- ② （ブロック塀などの）危ない場所から離れて！
- ③ お店では、あわてず係員の指示に従って！

さらに、地震の際の安全確保行動1-2-3「まず低く、頭を守り、動かない」を身につけるシェイクアウト訓練も紹介されています。地震を想定し、ご家庭でも訓練をしておくと、万が一地震があった際にあわてなくていいと思います。

小学生にとっての体育の日「小学校体育大会」

佐世保市では、市内の小学6年生を4つのブロックに分けて、小学校体育大会を実施しています。祇園小学校の6年生は、10月24日（水）に近隣校計13校（内ろう学佐世保分校は該当学年がいないため不参加）と一緒に参加しました。秋晴れのいい天気の中、相浦の総合グラウンド陸上競技場や運動広場、体育館で思い切りからだを動かしました。日頃は部活動や社会体育の選手が使うスポーツ施設を使い、心もからだもリフレッシュし、小学生にとっての体育の日を楽しんでいました。

脳の発達や成長にもいい影響を及ぼしますので、今後も運動に親んでくれることを期待しています。

祇園歴史の旅（その24）「中部地区町内協議会」

今号からは、中部地区町内協議会設立25周年記念誌「住民親和の歩み四半世紀」（平成20年出版）をもとに歴史を旅してみたいと思います。同じ中部地区なので、小佐世保小校区や山手小校区の話題も併せてご紹介いたします。

巻頭の市長祝辞には、「中部地区町内協議会は、昭和58年の佐世保市体育文化館完成により中部地区公民館が設置されたことに伴い、自治会活動の活性化などを目的として創立されました。この年は、本市と中国廈門市が友好都市となった年で、また米海軍原子力空母「エンタープライズ」が2回目の入港をした年でもあり、国際色豊かな佐世保を象徴した年でありました。」とあります。

平成28年6月に中部地区自治協議会が発足するまでの間、33年に渡り中部地区町協議会として継続・発展してまいりました。